

5月27日から6月11日までの会期で行われる6月定例議会。5議席に前進した日本共産党市議団は、平和、くらし、街づくり・産業活性化などの提案とあわせて「ウェルネスプラザ」や市が移管した「私立保育園」、違法土砂の埋め立て問題など市長の姿勢をただします。

これはひどい 工事後の議会提案の違法性 工事着工1年後の契約額増額変更案件

10月オープンへ工事中のウェルネスプラザ・多目的公園整備工事の請負契約の変更につて締結のための議案が5月27日開会の議会に提案されました。「プラザ」と公園の工事は、昨年4月25日の臨時議会の契約の議決に基づき、すでに工事に着手しているものです。

地方自治法・取手市条例違反

昨年のこの追加工事で、予算の増額が必要となりましたが、市長は、法律と条例で必要とされている変更契約の議決なしに、議会全員協議会の報告だけで工事を続行しました。党議員団は、繰り返し違法性を正してきました。

それから1年後の今議会への上程は、契約（予算）増額変更のためのもので、明らかに地方自治法及び取手市の条例に違反するものです。日本共産党はあらためてこうした市長の姿勢をただしていきます。

指定管理者にシダックスとコナミスポーツ提案

補正予算には、10月オープン準備のための予算（1871万円）と民間に管理・運営の代行を依頼するための予算6825万円（指定管理料半年分）等も計上されています。とりで健康づくりパートナーズ（シダックス大新東ヒューマンサービスKK・KKコナミスポーツ&ライフ）を指定管理者に指定する議案が出されましたが、肝心の審議の為の必要資料は示されておりません。そのため党議員団は、審議に必要な資料提出を要求しています。

日本共産党議員提案 野々井・藤代保健センター存続へ

野々井・藤代保健センターは9月に廃止、ウェルネスプラザに統合する予定です。日本共産党は、保健センター統合を中止し、住民の身近な現在地での2つのセンター存続へ議員提案を行います。

建設進むウェルネスプラザ（取手駅西口）

高い!! 収入はすべて指定管理者に

「ウェルネスプラザ」利用料

〈主な利用料の一例〉

- ホール 36,000円/1日(平日)
(400名収容) 43,200円/1日(土日祝)
(入場無料の時)
- トレーニングジム 500円/1回
- キッズプレイルーム 100円/1時間
- 市が新設した駐車場 250円/1時間
(これまで取手市公共施設の駐車場はすべて無料です。プラザ近辺の駐車料金は1時間200円も)

西口開発(ウェルネス)住民訴訟

西口駅北側の公有地（取手市・茨城県）を格安で売却し、損害をもたらした取手市長を被告に、損害額の返還を求め市民らが提訴して2年。被告藤井信吾市長ら9人の証人尋問の申請もあり裁判は間もなく山場を迎えます。

動き出した「取手駅東口構内バリアフリー化」 調査委託料(1,080万円)補正予算に計上

取手駅の乗降客は、1日5万人超。利用者の切実な要求に、国土交通省も取手駅をバリアフリー未完成駅と認め、早期整備が必要としてきました。今議会、補正予算に調査委託料が計上されたことに、期待の声が寄せられています。

〈住民と日本共産党の取り組み〉

取手駅東口改札閉鎖と駅前交番の廃止につながる「橋上駅舎と東西自由通路」の整備計画（総事業費約35億円）。これに対し、「東口改札閉鎖反対、駅前交番守れ、2本目の東西通路より、東口構内バリアフリー化を」との住民と日本共産党の運動が取り組まれました。H22年2月JRと取手市は同計画の中止を発表しました。

(これまでの経過)

- H22年3月 「取手駅東口構内のバリアフリー化」を求める請願採択。
- 6月 国土交通省に取手駅バリアフリー化促進の要望。
- 8月 JR東日本東京支社に要望署名2124筆（代表取手駅東側13町内会・自治会等）届け要望。
- H25年6月 「早期バリアフリー化をJRに求めてください」と取手市長に要請。
- 7月 JR東日本東京支社に要望署名2646筆（代表とりで生活と健康を守る会等5市民団体と日本共産党）

- 高木晶市委員長
- 加増みつ子市議
- 鈴木きよし市議
- 小池えつ子市議

- 上野たかし県議
- 遠山ちえ子市議
- 関戸 勇 市議

明るい取手

2015年5月31日号
発行: 日本共産党取手市委員会

◆ 日本共産党の見解を紹介します。
302-0011 茨城県取手市井野3-19-5
☎ 72-7816 Fax 72-7817
http://toride.jcpweb.net

「戦争法案」 国会審議はじまる 憲法9条破壊の戦争法案は廃案に

日本共産党



「戦争法案反対署名行動」取手駅西口=5月27日

26日、衆議院で米国が起こす戦争に自衛隊がいつでもどこでも参戦・支援するための戦争法案が、審議入りしました。法案は自衛隊法や周辺事態法など現行10法を大転換する一括改正法と、国際平和支援法（派兵恒久法）の2本。4月に改定した日米ガイドラインを法制化するもので、今国会で一気に強行しようというものです。

26日、日本共産党の志位委員長は代表質問で、憲法9条を破壊する3つの大問題を指摘し、「日本を海外で戦争する国」に作り替えるものだ」と安倍首相の基本姿勢を正しました。

3つの問題点と安倍首相の答弁

- ① 米国が戦争に乗り出した際、世界のどこであれ自衛隊が「戦闘地域」まで行って軍事支援をするようになるのか。安倍首相「可能性を認めた」となるのか。
- ② PKO（国際平和維持活動）法の改定により国連が統括しないものでも、武器を持った治安維持活動を可能にするのか。安倍首相「具体的にどのようなものになるか不明」と回答を回避

③ 国際法違反の侵略行為である先制攻撃を米国が行った場合でも、集団的自衛権の発動はありうるのか。安倍首相「政府が客観的・合理的に判断する」と否定せず。志位委員長は、「こんな異常な米国追随は日本だけ。米国に言われるままに集団的自衛権を発動するのは明らかだ」と批判。「憲法違反・戦後最悪の法案は、徹底審議廃案にしない」「国民のみなさんと共に阻止に全力を挙げる」としました。

藤代平和の会

遠藤俊夫

本気で怒ろう
いま、本気で怒ろう。
いま、声を上げよう。
いま、沖縄と連帯して、戦争法案を葬り去ろう。
未来への、私たちの責任だ。

暮らしと平和を守るネットワーク取手

代表 丸山敏郎

幾百万の尊い命を奪った戦争責任をうやむやにして、ポツダム宣言に目をつぶる侵略戦争の推進者の孫を中心に、日本を再び戦争する国にする戦争法案が、多数の力で国会を通ろうとしています。私たちの生存権を脅かす暴挙に国民の怒りが高まっています。世論の盛り上がりでこの法案を阻止しましょう。

とりで9条の会世話人

松浦和子

ある作家が「今が引き返せぬ地点だ」と言っています。同感です。その今の地点に立って、各地で沖縄で、国会前で「戦争法案許すな」の熱いコールが広がっています。どんな美句を重ねても、本命は9条破壊です。そのことに多くの人が気付いて、なんとかしてこの暴走をストップさせたい。

取手市議会

平和か戦争かの岐路にある今、取手から「戦争法案」反対の声を上げようと取手市議会に国への意見書提出を求める請願が市議会に出されました。また、民間委託した私立保育園の運営問題に関する調査のために、百条委員会を市議会に設置するよう求めた請願も3名の市民から出されました。

「安全保障関連法案」の廃案へ 意見書提出を求める請願書

日本を「戦争する国」にしてはならない「憲法9条を守れ」と「戦争法案」の廃案を求め、全国の運動と連帯して取手からも発信しよう。国に対して意見書提出を求めた請願書です。これまで市議会では、「特定秘密保護法」の廃止を求める意見書、「集団的

(紹介議員 鈴木潔)

小瀬福祉会に移管された民営化園に関し、 地方自治法第100条調査委員会設置による調査を求める請願

請願の主旨は、市立戸頭東保育所を民営化した金澤克仁市議の親族が運営する「小瀬福祉会戸頭東保育園」で起こった幼い子どもへの虐待の疑いや不正経理の実態把握、同議員の政治倫理条違反疑惑の解明などを調査する100条委員会設置を求める請願です。共産党はこの問題の是正を求め、市議会でも取り上げてきました。また、5月25日政治倫理審査会に同内容で調査請求が出され、翌26日には新聞各紙が報道しました。6月4日午後 福祉厚生常任委員会で審議されます。(紹介議員 関戸 勇)